

仙台市一般廃棄物処理基本計画（改定最終案）における人口及び目標の取り扱いについて

平成 28 年 1 月
仙台市環境局

1. 平成 32 年度における本市推計人口について

- 震災以降の人口動態を反映した人口推計データが作成されていないことから、26 年度実態調査において、環境局独自の人口推計「平成 32 年度に 107.5 万人」を作成。
- 基本計画改定案（平成 27 年 10 月）においても 107.5 万人を採用し、目標値の設定等に使用。
- 平成 27 年 11 月に、仙台市政策重点化方針 2020 の見直しに係るデータとして、「平成 32 年度に 108.8 万人（ピークは 33 年度）」という将来人口推計（以下、「新推計」という。）が公表。
- 新推計は、今後本市における各種計画・施策に適宜反映される公式データであるため、基本計画においても新推計を採用することとした。

	基本計画改定案	新推計	差異
平成 32 年度推計人口（万人）	107.5	108.8	1.3

2. 一般廃棄物処理基本計画（改定最終案）における目標の取り扱いについて

- 改定案では、人口及び 1 人 1 日当たりごみ量等を基に、32 年度ごみ総量（単純推計値）を「37.9 万トン」と算出。今後 5 年間の施策によるごみ減量効果を「1.9 万トン」と想定し、37.9 万トンに減量効果 1.9 万トンを反映させて「ごみ総量 36 万トン」等の目標を設定。
- 改定最終案の作成にあたり、審議会での審議等を踏まえ、減量効果 1.9 万トンの更なる上乗せを検討していた。（策定当初に設定した 10 年間の施策減量効果 2.1 万トン程度（1.9 万トンから 10%・2 千トン増）を想定。）
- 32 年度推計人口を「108.8 万人」に置き換えることで、目標設定のベースとなる単純推計値について、ごみ総量で約 4 千トン、燃やすごみの量で約 3 千トンの増加となる。（下表）

<表> 新推計の採用による推計値の変更について

	32 年度見込み（旧）	32 年度見込み（新）	差異
人口	107.5 万人	108.8 万人	+1.3 万人
ごみ総量	37 万 9 千トン	38 万 3 千トン	+4 千トン
燃やすごみの量	32 万 4 千トン	32 万 7 千トン	+3 千トン

- 減量効果を上記の想定である 2.1 万トンまで拡大しても、目標値は 36.2 万トンとなり、数値の修正が必要となる。今回、改定最終案の作成にあたっては、計画目標の意義や趣旨等に鑑み、減量効果を更に 2.3 万トンまで上乗せすることとし（1.9 万トンから 20%・4 千トン増）、**目標値は変更しない**とした。

<表> ごみ総量等の実績と新たな目標

	26年度	32年度見込 (旧)	32年度見込 (新)	新たな目標 (32年度)
人口(万人)	107.3	<u>107.5</u>	<u>108.8</u>	108.8
ごみ総量(トン)	385,863	<u>379,000</u>	<u>383,000</u>	360,000
生活ごみ	242,958	<u>240,000</u>	<u>243,000</u>	238,000
(うち家庭ごみ)	(191,381)	<u>(185,000)</u>	<u>(187,000)</u>	(176,000)
事業ごみ	142,905	<u>139,000</u>	<u>140,000</u>	122,000
リサイクル率(%)	29.9	31.4	31.4	35
リサイクル量(トン)	144,000	<u>150,000</u>	<u>151,000</u>	165,000
(うち市リサイクル)	(47,000)	<u>(51,000)</u>	<u>(52,000)</u>	(56,000)
(うち民間リサイクル)	(97,000)	(99,000)	(99,000)	(109,000)
燃やすごみの量(トン)	333,424	<u>324,000</u>	<u>327,000</u>	305,000
1人1日当たり家庭ごみ(g/人・日)	489	471	471	450

<図> 新推計の反映によるごみ総量見込み等への影響について

